## 「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称 ごみ減量推進事業費 [ごみ減量推進事業]											
予	予 算 科 目 款 4 衛			衛生費	項 2	清掃費	清掃費 目 4 清		事業番号 3		
III	事業の種別										
担当部署・課長名 ごみ対策 課 ごみ減量 係 課長名 中山 仁								中山 仁			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 施策番号4 - 7											
【施策名】 ごみの減量とリサイクルの推進 総合計画書 (ページ) 97								97			
	_		を対象にして		か。	_	象数や量を、あられ	すもの(対象指	標)		
	<u>_</u> 0	みな貧泥物な	を排出する市民	;			)月1日現在)				
	<b>→</b>										
1											
'		ごみの減量	よりな状態に	. 0/201	のですか。「間深	_	、思になった数・重を 、1日当たりの排出量		以未怕惊儿		
<u>ر</u> (		ノサイクルの	の推進			(総排出量	♂人口/年間日数×1		0)		
の仕	→ ②リサイクル率										
仕事											
の 目	<b>③</b>		た何をしまし	<sub>ノ</sub> たか。			のくらい行いました	たか(活動指標)			
的	ごる	みや資源物の	の再資源化			資源化総量					
						<b>→</b>					
				Ī	\G+0#	BB o ch/#	火表左连	成果目標			
				単位	過去2年間の実績 平成30年度実績 平成31年度実績		当該年度  令和2年度実績	八未 令和3年度目標	令和4年度目標		
2	_	+6+5+=							1510 1 1 2 2 1 3		
_	対象指標		1の数値	人	85,534	85,277 85,305					
指標	Б	成果指標 	2の数値	①g	1 663.0	① 674.3	1 692.1				
(標の				2%	2 36.7	② 35.5	2 37.3	OF O	050		
推	E		②の目標値 目標値設定の	g 考え方	650	650	650	650	650		
移		J 130	東大和市一般廃棄物処理基本計画による								
	活動指標		3の数値	トン	7,601	7,480	8,044				
							·				
		事業費(実績)		円 E	75,585,015 28,171,031		26,081,357	────────────────────────────────────			
	件費(目安	一般財源	(国・都・他)	円円	48,334,154 27,250,861	20,174,187 7,996,844	23,061,471 3,019,886	ついては時間数での	しますが、一時的な仕事に 数での表示も可とします。 を「時間」に変更してくだ		
			(国·邮·厄) 5受益者負担)	円	20,647,218	7,996,844	3,019,886	さい。			
3 経			再任用以外)	人	5.0	5.0	4.0	入什負(再任用順			
費		所要人数(		人				・ 時間単価は、 で計算してくださ	4,300円 (ださい。		
		職員人件費	貴(再任用以外)	円	41,220,000	41,550,000	33,520,000	【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
		職員人件費	員人件費(再任用)								
		事業費-	├人件費	円	116,805,015 69,721,031 59,601,357						
	(1)開始年度 昭和29 年度										
4環境	(2)環境の変化										
境											
変	平月	平成26年 8月: 収集体制の変更・一部戸別回収の実施 平成26年10月: 家庭廃棄物の有料化を導入									
化等	平成31年 4月:小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設が稼動開始した。   平成31年 10月:食品ロスの削減の推進に関する法律が施行された。										
-   十成0   十   10月・皮回口人の別例の推進に関する広洋が加けられた。 											

事業	名	称		ごみ減量	推進事業費 [ごみ減量	推進事		
担当部署(	・課長	• 名 [	ごみ対策	課	ごみ減量	係	課長名	中山 仁

5市	この仕事に関して、 行について	記和2 <b>年度中</b> に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識					
民等の意見	平成26年8月1日から実施した戸別収集については、可燃ごみ・不燃ごみ・容器包装プラスチックとなっており、資源物はステーション式であることから、資源物についての戸別収集が望まれている。また、排出が困難な高齢者からの要望もある。 廃棄物の排出抑制と資源物のリサイクルのため、ペットボトル自動回収機によるペットボトル回収事業や使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収事業、リユース活動の促進事業等に取り組み、市民から高い評価を得ている。						
		あたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 を記載してください。 (複数回答可)					
6市民協働	☑ 取り組んだ	取組手法:③④⑤⑥					
	□ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体: )⑦後援・場の提供 ⑧その他( )					
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点						
	(1)令和2年度に課題	とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)					
	民間事業者と連携した新たな減量施策の実施						
7	(2)(1)の課題解決に	句けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。					
課題	<ul> <li>・コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)との協働による、ペットボトル自動回収機を活用したペットボトル回収事業の実施</li> <li>・ライオン(株)が実施し、市立第二中学校が参加するハブラシ回収プログラムへの協力</li> <li>・ユニ・チャーム(株)との協定に基づく、使用済み紙おむつリサイクル推進に向けた実証事業への協力</li> <li>・(株)ジモティーとの協定に基づく、リユース活動の推進事業の実施</li> </ul>						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)						
	民間事業者との連携によるさらなる減量施策の実施						
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)						
	施策名: ごみの減量とリサイクルの推進						
	☑ なっている □ 環:	境の変化等により成果が減少している 🗌 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名 ( )					
	(1)仕事の方向性(「	7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	☑ 拡大  □ 現状維持  □ 縮小  □ 休止  □ 廃止						
9	【取組内容】						
今後の方	更なるごみ減量施第	最の推進。					
白	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等						
性	・民間事業者が行っているリサイクル事業の把握と、その事業について市と連携し、または市が導入できるかの検討。						